

## 中学校音楽 専門問題例

例 1 次の楽譜を見て、(1)～(4)の問いに答えなさい。

楽譜省略

- (1) この楽曲の調名と拍子記号を書きなさい。（＊原調は短3度上）
- (2) 楽譜上の①～④で示された2音間の音程を書きなさい。また、⑤～⑦で囲まれた和音の種類と、コードネームを書きなさい。（例 長三和音 C）
- (3) この楽曲の作曲家名と、生まれた国を書きなさい。
- (4) この楽曲の旋律をアルト・サクソフォーンで演奏するために、調号を用いて高音部譜表に書きなさい。

例 2 次の(1)～(4)に示される音階を答えなさい。

- (1) アルト譜表に調号を用いず、ト短調旋律的短音階を書きなさい。
- (2) 高音部譜表に調号を用いず、ヘ短調の平行調の下属調を書きなさい。
- (3) 低音部譜表に調号を用いて、ホ長調の属調を書きなさい。
- (4) 高音部譜表に調号を用いず、ドイツ音名 Cis,F,A で構成される和音を含む調を書きなさい。（短調のときは和声的短音階にすること）

例 3 次の(a)～(e)の作曲家について、(1)～(3)の問いに答えなさい。

(a) H. ベルリオーズ      (b) P. チャイコフスキー      (c) A. コプランド  
(d) C. サン・サーンス      (e) W. A. モーツァルト

- (1) 各作曲家の代表的な作品を、次のア～ケから選び、記号で書きなさい。  
ア 組曲「大峡谷」    イ 歌劇「サムソンとデリラ」    ウ ブランデンブルク協奏曲  
エ クラリネット五重奏曲イ長調    オ エル・サロン・メヒコ    カ 幻想交響曲  
キ 交響詩「レ・プレリュード」    ク バレエ音楽「四季」    ケ 交響曲第6番「悲愴」
- (2) (1)のエの「クラリネット五重奏曲イ長調」のクラリネット以外の楽器編成を書きなさい。
- (3) (b)の作曲家が作曲した協奏曲を楽器別に2つ書きなさい。

例4 日本と諸外国の楽器について、(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) (a)～(h)の楽器の分類にあてはまる楽器を、下のア～クから選び、記号で書きなさい。

楽器の分類	楽 器	
体鳴楽器	(a)	(b)
膜鳴楽器	(c)	(d)
気鳴楽器	(e)	(f)
弦鳴楽器	(g)	(h)

ア バグパイプ    イ こきりこ    ウ カヤグム    エ バンドネオン  
 オ クラベス    カ トーキングドラム    キ 小鼓    ク ウード

- (2) 「箏」と「琴」の違いを述べなさい。

例5 次の和音記号に従い、4分の4拍子で8小節のアルト・リコーダーの曲を作りなさい。ただし、(1)～(7)の条件を満たしていること。

楽譜省略

【条件】

- (1) 一部形式であること。
- (2) 調はへ長調とすること。
- (3) 速度記号か速度標語を指定すること。
- (4) 強弱記号（変化を表す記号も可）を示すこと。
- (5) それぞれの小節に和音記号を表記すること。
- (6) 次の4種類の非和声音をそれぞれ1回以上使用し、その音の上にカタカナで表記すること。
  - (a) 掛留音…ケ
  - (b) 経過音…カ
  - (c) 刺繍音…シ
  - (d) 倚 音…イ
- (7) アルト・リコーダーの音域であること。

例6 中学校学習指導要領「第2章 各教科」「第5節 音楽」について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は「第2 各学年の目標及び内容」〔第2学年及び第3学年〕「2 内容」の一部である。(a)～(i)にあてはまる語句を書きなさい。

「A 表現」

- (3) 創作の活動を通して、次の事項を指導する。

イ 表現したい(a)をもち、(b)の特徴を生かし、(c)、変化、(d)などの構成や(e)を工夫しながら音楽をつくること。

「B 鑑賞」

- (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。

ウ 我が国や(f)の(g)及び(h)の様々な音楽の特徴から音楽の(i)を理解して、鑑賞すること。

- (2) 次の文は「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。(a)・(b)にはあてはまる楽曲名を、(c)～(f)にはあてはまる語句を書きなさい。

2 第2の内容の指導については、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 歌唱の指導については、次のとおり取り扱うこと。

ア 各学年の「A 表現」の(4)のイの(ア)の歌唱教材については、以下の共通教材の中から各学年ごとに1曲以上を含めること。

「(a)」      み き ろふう      やまだ こうさく  
                三木露風作詞      山田耕筰作曲

「(b)」      え まし ようこ      だん い く ま  
                江間 章子作詞      團伊玖磨作曲

- (5) 創作の指導については、(c)に音を出しながら(d)を試すなど、音を音楽へと構成していく体験を重視すること。その際、(e)に偏らないようにするとともに、必要に応じて作品を(f)を工夫させること。

中学校音楽 正答例

問題番号		正 答		
例 1	(1)	調 名	へ長調	
		拍 子	$\frac{6}{8}$	
	(2)	①	減 4 度	
		②	短 7 度	
		③	短 6 度	
		④	完全 5 度	
		⑤	和音の種類	増三和音
			コードネーム	Faug
		⑥	和音の種類	短三和音
			コードネーム	Gm
		⑦	和音の種類	属七の和音
			コードネーム	C7
(3)	作曲者	トステイ		
	生まれた国	イタリア		
(4)	楽譜省略			
例 2	(1)	楽譜省略		
	(2)	楽譜省略		
	(3)	楽譜省略		
	(4)	楽譜省略		

問題番号		正 答	
例 3	(1)	(a)	カ
		(b)	ケ
		(c)	オ
		(d)	イ
		(e)	エ
	(2)	第 1 ヴァイオリン	
		第 2 ヴァイオリン	
		ヴィオラ	
		チェロ	
	(3)	ピアノ協奏曲	
		ヴァイオリン協奏曲	
例 4	(1)	(a)	イ (オ)
		(b)	オ (イ)
		(c)	カ (キ)
		(d)	キ (カ)
		(e)	ア (エ)
		(f)	エ (ア)
		(g)	ウ (ク)
		(h)	ク (ウ)
	(2)	箏は柱があるが、琴は柱がない。 (「箏柱」「琴柱」でも可)	

問題番号		正 答	
例 5	楽譜省略		
例 6	(1)	(a)	イメージ
		(b)	音素材
		(c)	反復
		(d)	対照
		(e)	全体のまとまり
		(f)	郷土
		(g)	伝統音楽
		(h)	諸外国
		(i)	多様性
	(2)	(a)	赤とんぼ
		(b)	花の街
		(c)	即興的
		(d)	音のつながり方
		(e)	理論
		(f)	記録する方法